# ご あ い さ つ

組合員、地域の皆様方には、平素より当組合をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

このたび、皆様方に当組合をより一層ご理解いただくために、令和6年度版「サツラクプロフィール」を発刊いたしました。今後、本冊子を通じ皆様方とのおつきあいがより深まれば幸いに存じます。

さて、令和6年度の酪農業界においては、ウクライナ問題や中東情勢をめぐる地政学リスクにより、穀物や原油価格は円安の影響も加わって依然高止まりしており、さらに子牛などの副産物価格の低迷が続いていることから、酪農経営は大きく圧迫され、生産基盤に深刻な影響を与えていることから、高止まりする酪農生産コストに対応するための様々な対策を講じるとともに、令和4、5年に値上げを実施した乳価の維持に努めてまいりました。

このようななか、物価高による節約志向の高まりや牛乳・乳製品価格の値上げによる売上減少を危惧しましたが、今期決算は税引前当期利益約 200 百万円を確保することができました。

本年度は、新中期経営計画の初年度でありますが、酪農生産コストの高止まりや市場環境の不安定さが続くなか、引き続き組合員の皆様が将来も安心して酪農経営に取り組めるよう本指針に則り、経営支援諸対策による生産コストの低減および安定的な乳価財源の確保に向け全力で取り組んでまいります。

市乳事業においては、少子高齢化に伴う消費構造の変化や嗜好の多様化、物価高騰などの影響により、今後ますます戦略的な思考と行動が求められることから、中期経営計画に掲げた様々な基本戦略を実行に移し、乳価財源の安定的確保、最大化に向け更なる成長と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

購買事業においては、配合飼料の委託製造から仕入販売への切り替えや商品の直送化により物流コストを抑制し商品価格の低減を図るなど、組合員の経営に寄与する取組を進めてまいります。

信用・共済事業においては、組合員・利用者の皆様の経営や生活に関わる様々なソリューションの提供を通じて、酪農経営支援など総合事業体としてその使命を果たしてまいります。

組合財務においては、組合員の経営状況に配慮しつつ、内部留保を基本とした自己資本の充実と固定資産の計画的な取得に努め、財務の健全化と経営基盤の強化を図ってまいります。

酪農を取り巻く環境は今後も紆余曲折の連続であり、組合運営・酪農経営の環境は流動的で厳しいものと予想されますが、あらためて組合員並びに地域利用者の皆様から必要とされる組合であり続けるために、皆様の負託に応える取り組みを展開してまいります。

令和 7 年 4 月 28 日

**サツラク農業協同組合**

代表理事組合長　　山　本　裕　康